

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(45104)		
<b>時間割担当</b>	小竹光夫		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 選択
<b>曜日・時限</b>	木・5		

### 授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、文字を手書きすることに関しての基礎的・基本的事項全般についての理解と演習を行う。特に小・中学校では国語科に、高等学校では芸術科に位置付けられる書写・書道という領域であるから、幅広い視野での理解と取り組みが必要となる。そのため、学習者の特性に合わせながら、理論面・実技面と二分した形での学習形態を導入する予定である。

### 学習の到達目標

基礎段階での学習であるから、理論的な部分では文字の手書き行為に関する基礎研究を、実技的な部分では毛筆の特性を生かした表現活動の基礎を念頭に置いて、学習展開を試みる。

### 授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、補助資料を活用しながら学習を進めていく。
- 2.それぞれの学習経過を文字化し、適宜、発表機会を設けながら学習を展開していく。

### 授業計画

- 第1～2回 学習の基本方向についてのオリエンテーションと、各自の学習計画を作成する。
- 第3～7回 各自の研究計画に基づいて、第一回研究発表会に向けた研究論文・作品を作成する。
- 第8回 第一回研究発表会を実施し、各自の研究内容を提示しながら学びを共有する。
- 第9～13回 各自の研究計画に基づいて、第二回研究発表会に向けた研究論文・作品を作成する。
- 第14～15回 第二回研究発表会を実施し、前期の学習経過や成果をまとめる。
- 第16～17回 学習の方向性について再確認を行い、学習を進める過程についての助言・指導を行う。
- 第18～22回 各自の研究計画に基づいて、第三回研究発表会に向けた研究論文・作品を作成する。
- 第23～24回 第三回研究発表会を実施し、各自の研究内容を提示しながら学びを共有する。
- 第25～28回 各自の学びの過程を文章や作品としてまとめ、今後のゼミ資料となるよう作成を進める。
- 第29～30回 ゼミ資料を完成させ、1年間の学習成果を集約する。

### 成績評価の基準

第一～三回までの研究発表会での成果、並びに最終的に作成するゼミ資料の完成度をもとに評価を行う。

### 授業時間外の課題

ゼミナール開始時に指示する。

### メッセージ

学びの基本は興味関心と継続性である。「文字を書いたら済む」などという安易な取り組みでなく、主体的・積極的な態度で臨んでほしい。

### 教材・教科書

必要としない。

### 参考書

別途指示する。